

ある日、ネットに自分の住んでいるところが「同和地区」「被差別部落」だという書き込みがありました。

- ①しよせんウワサ。真偽も含め、一切気にしない。
- ②真偽にかかわらずこうした書き込み自体は不快。
- ③「ちがいます!」と反論する。
- ④ちがうと思うが、“誤解”されるのではないかと不安になる。
- ⑤住んでいる場所で差別するなど、ナンセンスだと思っているため、書き込みをした人の人格を疑う。
- ⑥ホントかウソか確かめるために、もっと検索してみる。
- ⑦他の人がどんなことをコメントするのか、毎日チェックしてみる。
- ⑧家族、知人に相談する。
- ⑨人権相談の窓口相談する。
- ⑩とりあえず削除依頼をする。
- ⑪同和地区出身であったとしても、そのことを誇りうることだと思つたため気にしない。
- ⑫その他( )

#### インターネットの書き込みへの対応

表現の自由や通信の秘密の観点から、なかなか規制できないという現状がありますが、悪質な書き込みについては、いくつかの対応が可能です。

○プロバイダに対する削除要請、発信者情報の開示請求

○法務省の人権擁護機関や最寄りの市町村の人権相談窓口への相談 など

※詳しい内容については大阪府人権室のホームページに掲載されています。

<http://www.pref.osaka.jp/jinken/talk/sakujyo.html>

※人格を傷つけるなどの悪質な差別書き込みや差別を助長するような書き込みを発見された場合は、大阪府へ情報提供してください。

<http://www.pref.osaka.jp/jinken/internet/itsabetu.html>